



チームとして最大の目標であったニューイヤー駅伝が終わり、選手は冬季シーズンの成果を発揮すべく、個人種目に多数出場しました。

1月21日に開催された今シーズン最後の駅伝となる都道府県対抗男子駅伝には、福岡県代表として高橋尚弥選手が最終7区に出場。高橋選手はタスキを受け取った時点で10位だった順位をぐんぐん押し上げ4位でフィニッシュ。強豪がひしめくこの区間で、区間順位も3位と奮闘し、福岡県チームの上位入賞に大きく貢献しました。

1月28日に開催された大阪ハーフマラソンには、中本健太郎選手が招待選手として出場。中本選手は他実業団の有力選手を相手に堂々たるレースを展開しました。1位と僅差の2位でしたが、後続のスピードある若手選手に競り勝つ見事な走りでした。また、この大会はインターネットでライブ中継され、中本選手の健脚ぶりを全国の皆さんに見てもらえることができました。

2月4日には、前回中本選手優勝の記憶も新しい別府大分毎日

マラソンが開催されました。雪まじりの強風が吹き荒れる中、久保田大貴選手、黒木文太選手が出場。両選手とも中間点までは先頭集団で奮闘しましたが、後半で後れを取り、満足な結果を出すことができませんでした。

翌週の2月11日に開催された全日本実業団ハーフマラソンには、高橋尚弥選手、古賀淳紫選手が出場。高橋選手は熾烈なトップ争いを展開。ラストの直線で勝負を仕掛け、日本トップクラスの選手達を相手に5位でフィニッシュ。自己記録も更新し、チームの若手エースとして素晴らしい走りを見せてくれました。

3月4日に開催されたロードシーズン最終レースとなる玉名ハーフマラソンには5名の選手が出場。気温が上がり、少し暑さを感じる中でのレースとなりましたが、2月にマラソンを走ったばかりの久保田大貴選手が先頭でレースを進め、疲れを感じさせないタフな走りでも9位と健闘しました。

今後は、トラックレースへと舞台を移していきます。引き続き当社陸上部の応援をよろしくお願いします。



高橋尚弥選手(全国都道府県対抗男子駅伝競走大会)

選手コメント



中本 健太郎

4月のボストンマラソンに向けた調整の位置付けで、大阪ハーフマラソン(1/28)に出場しましたが、優勝こそは逃したものの、ハーフマラソンでは8年ぶりとなる自己記録更新の走りが出来ました。この勢いで、マラソンでも自己記録更新を目指して頑張ります。



高橋 尚弥

都道府県対抗駅伝では、駆け引きがあった中でのレースで6人を抜き、入賞できたのは大きな自信となりました。しかし、続く全日本実業団ハーフでは残念ながら1秒差で世界ハーフへの出場権を逃してしまいました。日本のトップレベルで戦えるだけの安定感や速さは身につけてきているので、今後はひとつひとつの試合を大切に、勝負どころで勝てる試合勘を磨いていきたいと思います。

◆ 18年1月～3月の主な戦績

日程	大会名	成績
1月 21日	天皇盃 第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	高橋尚弥選手(福岡県代表)7区:区間3位、チーム:4位
1月 28日	2018大阪ハーフマラソン	中本健太郎選手2位
2月 4日	第67回 別府大分毎日マラソン大会	久保田大貴選手32位、黒木文太選手156位
2月 11日	第58回 唐津10マイルロードレース大会	井上拳太郎選手27位、高橋達也選手37位
2月 11日	第46回 全日本実業団ハーフマラソン大会	高橋尚弥選手5位、古賀淳紫選手69位
2月 24日	第101回 日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走	井上拳太郎選手28位(シニア男子10km)
3月 4日	第69回 金栗杯玉名ハーフマラソン大会	久保田大貴選手9位、井上拳太郎選手22位、古賀淳紫選手29位、高橋達也選手34位、渡邊一磨選手44位